

学修意欲/学修方略 調査報告

2025.7.1 IR室

学修意欲/学習方略の調査結果について

- 学習意欲では、保育学科で「グループワークに積極的に参加」が減少するなどの変化が見られた。
- 学習方略では、前年と比較して、全体では「生成AIの利用」の増加、「友達と教えあう」「授業で習ったことを自分でもっと詳しく調べる」の減少などの変化があった。
- 学習意欲と学習方略のクロス分析から、学習方略の平均値が高い方が成長実感を得られる傾向がみられる。

学修意欲の調査について

◆2024年度「学修に関するアンケート」設問
「授業への取り組み方に関して、以下の項目が自分自身にどれくらい当てはまるかお答えください。」

- 欠席しないようにしている
- 遅刻しないようにしている
- 課題を期限内に出すようにしている
- 必要な予習・復習をしている
- 先生に質問や相談をしている
- グループワークなどに積極的に参加している
- できるだけ良い成績を取るようになっている

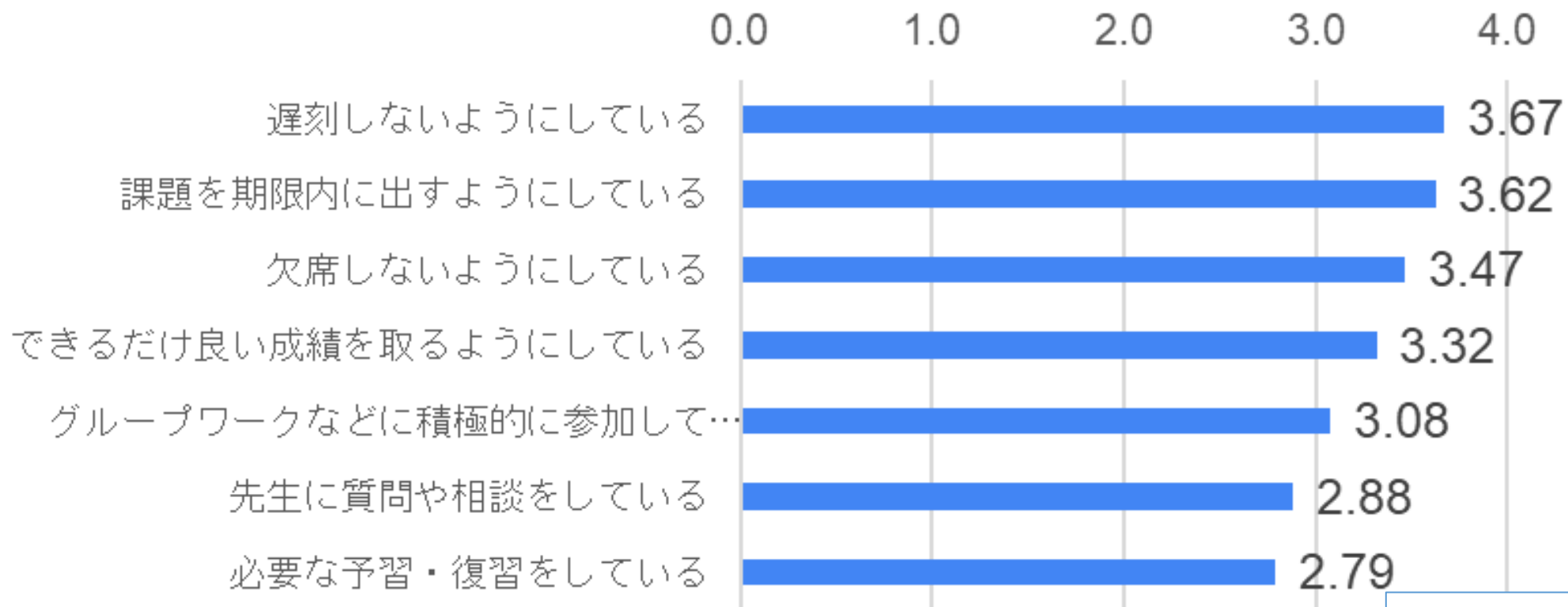
学修意欲の調査について

◆回答…

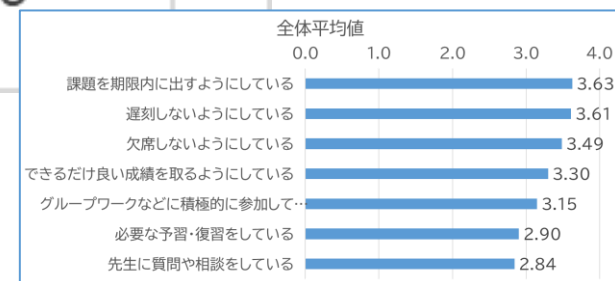
- 当てはまらない(1点)
- あまり当てはまらない(2点)
- 当てはまる(3点)
- よく当てはまる(4点)

学修意欲調査結果

全体平均値

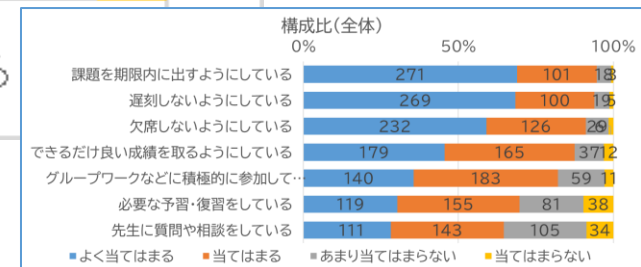
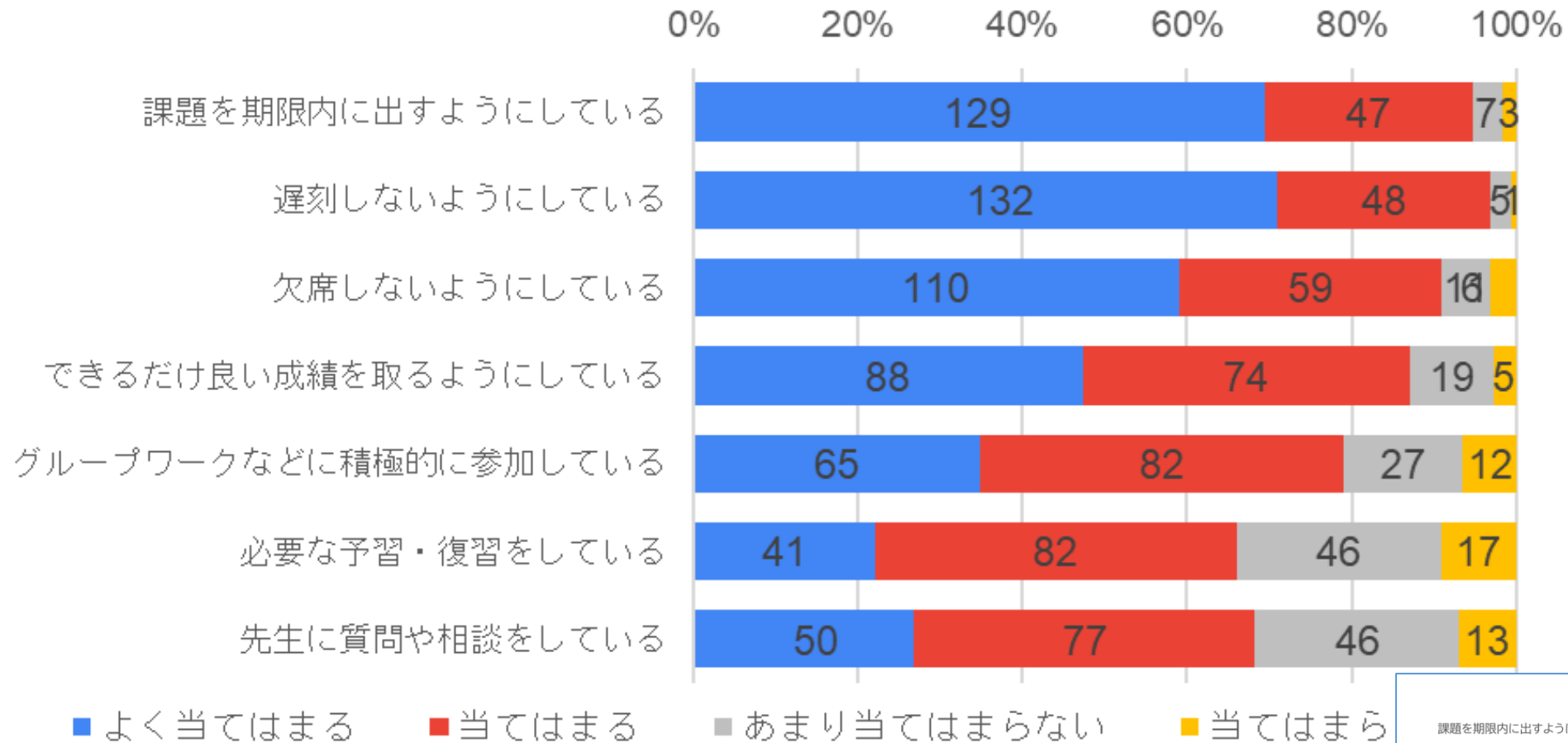


- どの学科でもほぼ同じ順位となった
- 前年と比較して大きな変動はない



学修意欲調査結果

構成比（全体）



• 前年と比較して大きな変化はない

学修意欲調査結果

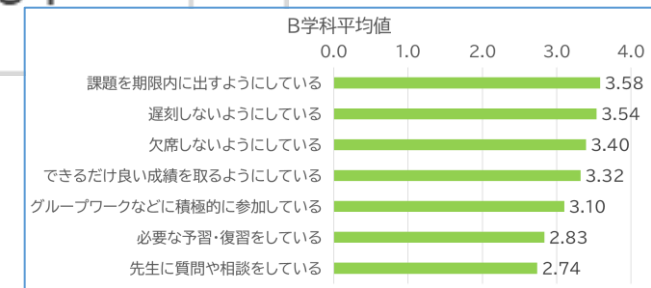
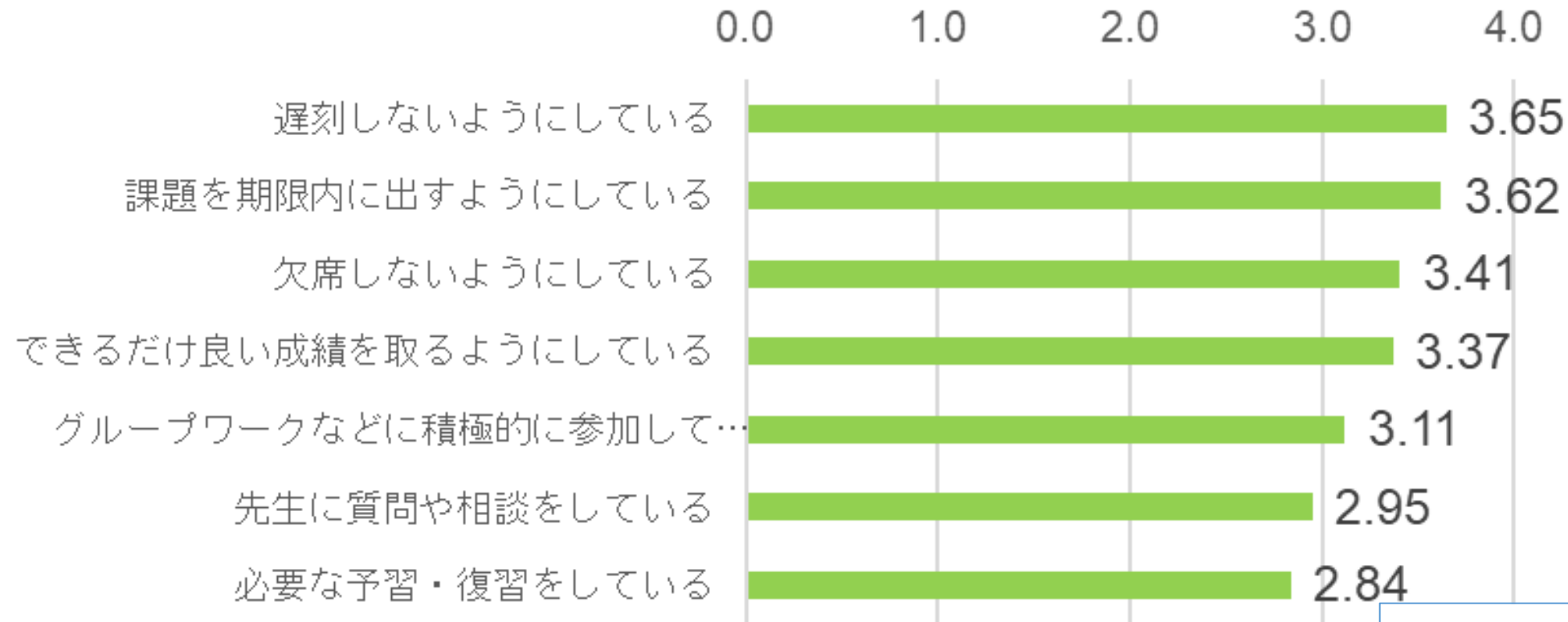
■全体平均点(前年比較)

項目	平均点数	前年	差数	t 検定
遅刻しないようにしている	3.67	3.61	0.06	0.239
課題を期限内に出すようにしている	3.62	3.63	0.00	0.931
欠席しないようにしている	3.47	3.49	-0.02	0.780
できるだけ良い成績を取るようにしている	3.32	3.30	0.02	0.803
グループワークなどに積極的に参加している	3.08	3.15	-0.07	0.316
先生に質問や相談をしている	2.88	2.84	0.04	0.623
必要な予習・復習をしている	2.79	2.90	-0.11	0.163
全体	3.26	3.27	-0.01	0.636

- 前年と比較して大きな変化はない

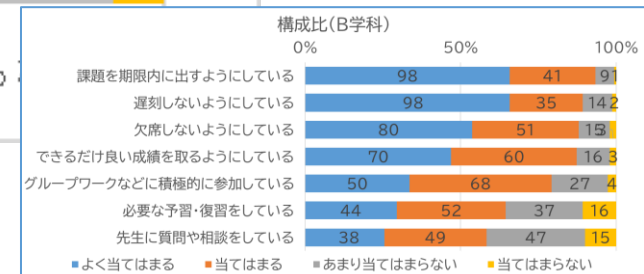
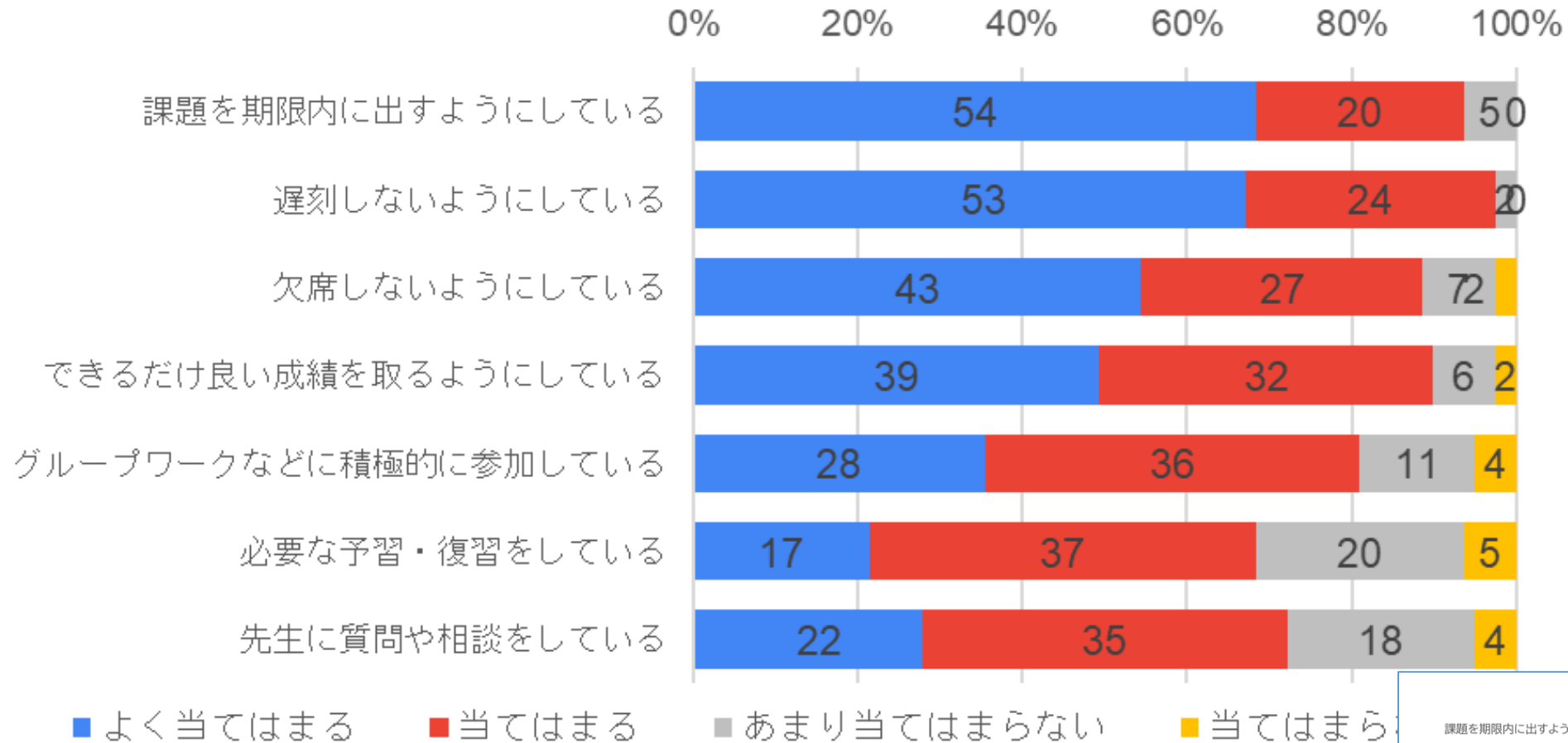
学修意欲調査結果

B学科平均値



学修意欲調査結果

構成比 (B学科)



学修意欲調査結果

■平均点(前年比較)

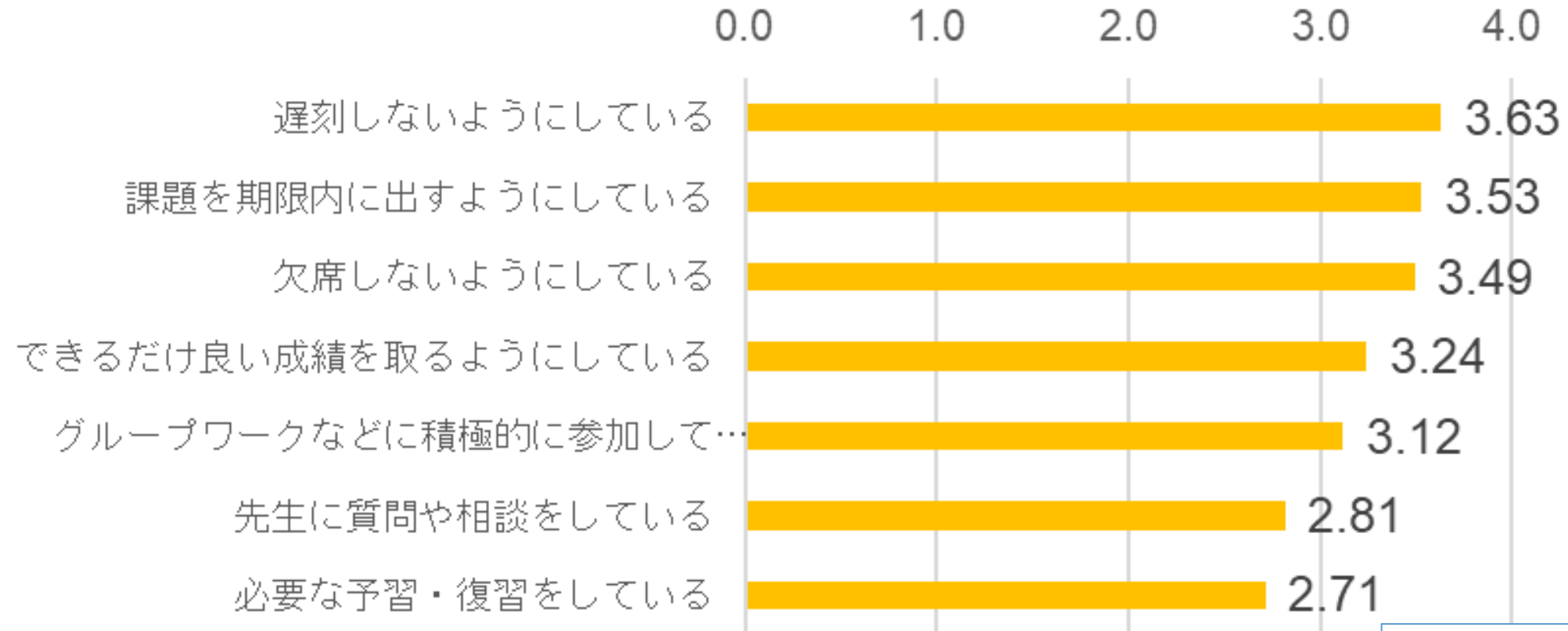
総合ビジネス・情報学科

項目	平均点数	前年	差数	t 検定
遅刻しないようにしている	3.65	3.54	0.11	0.198
課題を期限内に出すようにしている	3.62	3.58	0.04	0.673
欠席しないようにしている	3.41	3.40	0.01	0.931
できるだけ良い成績を取るようにしている	3.37	3.32	0.04	0.663
グループワークなどに積極的に参加している	3.11	3.10	0.01	0.907
先生に質問や相談をしている	2.95	2.74	0.21	0.088
必要な予習・復習をしている	2.84	2.83	0.00	0.979
全体	3.28	3.22	0.06	0.158

- 前年と比較して大きな変化はない

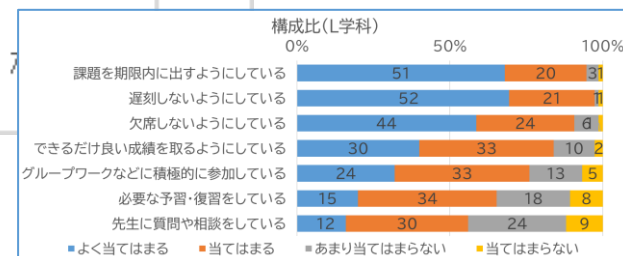
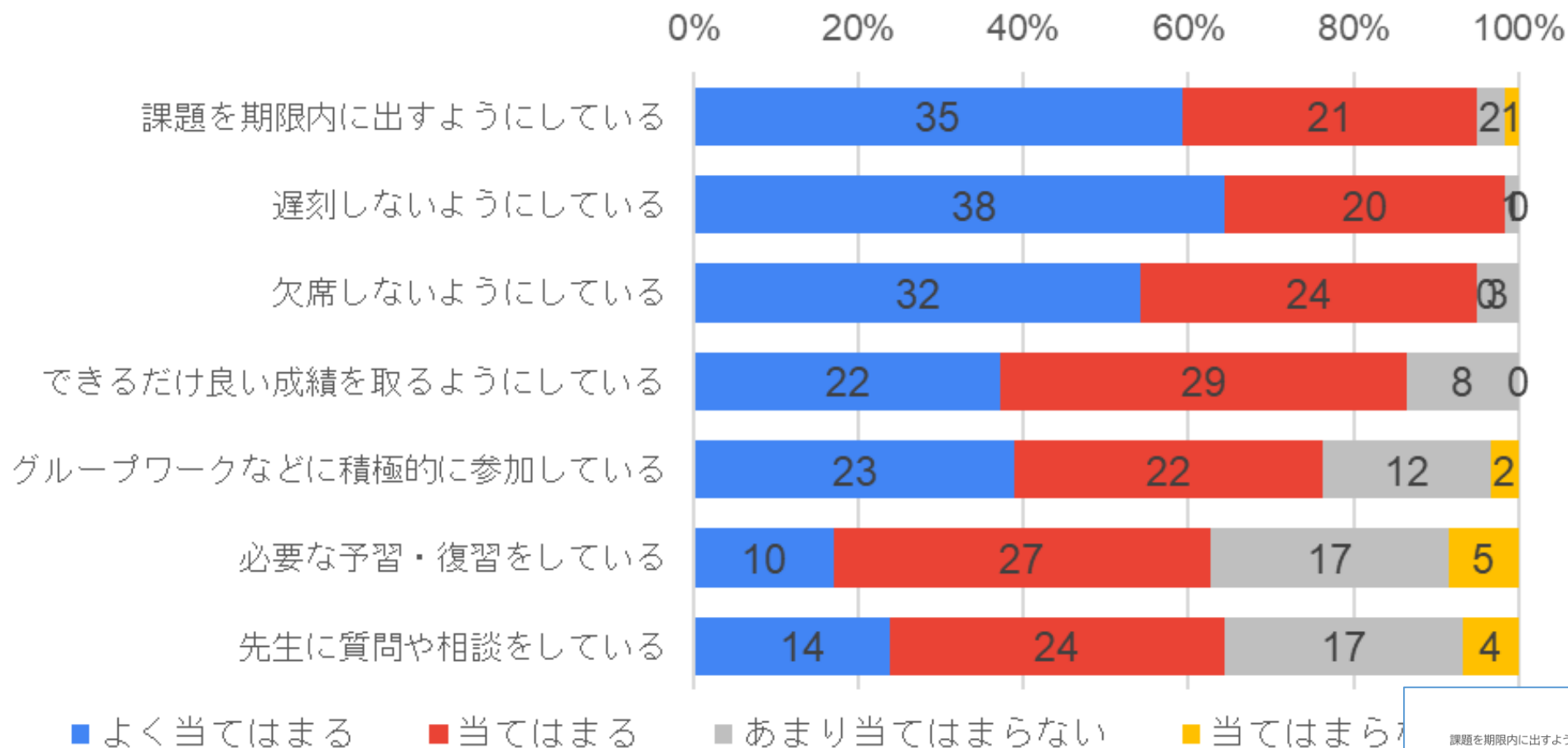
学修意欲調査結果

L学科平均値



学修意欲調査結果

構成比 (L学科)



学修意欲調査結果

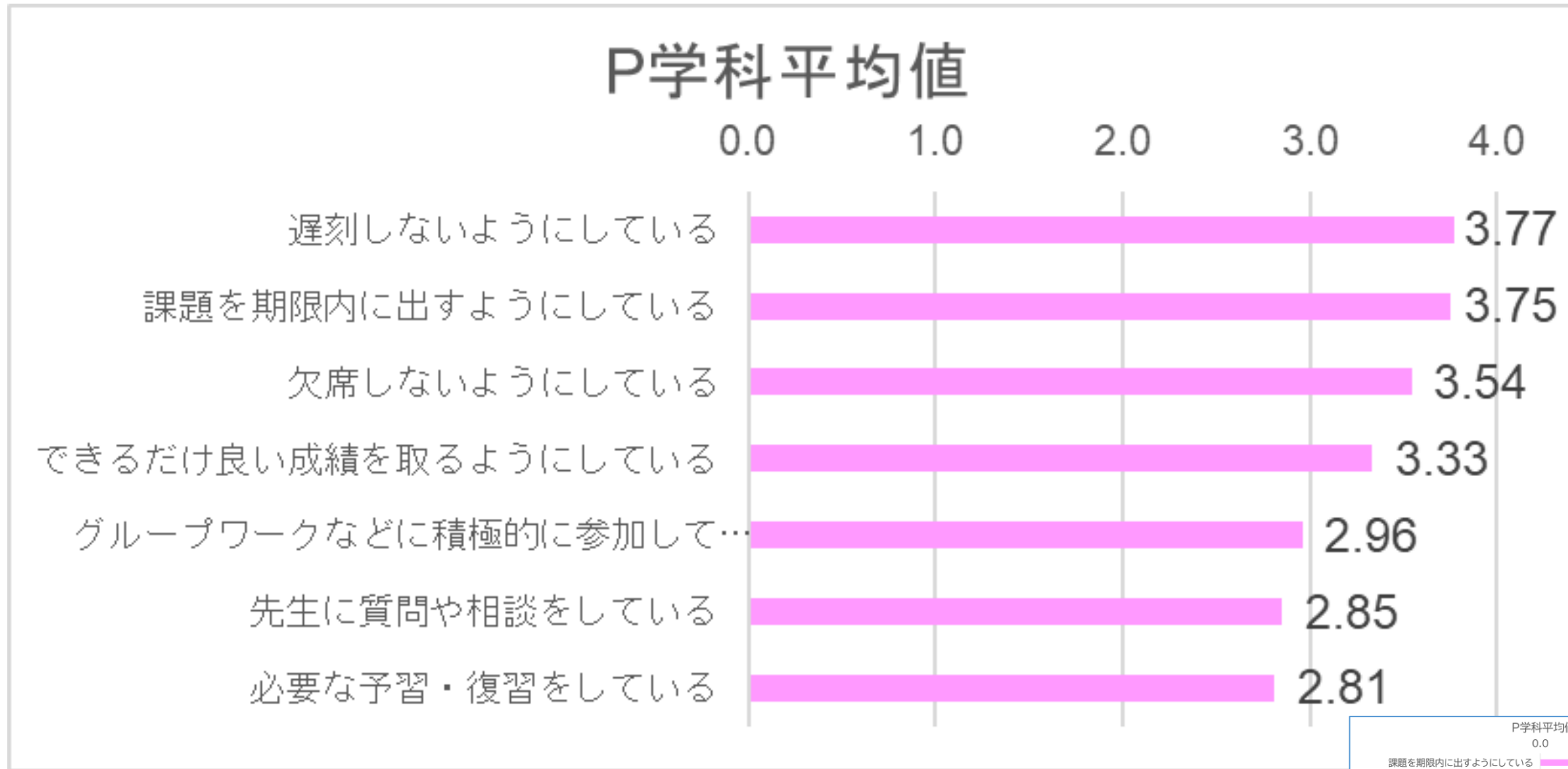
■平均点(前年比較)

生活プロデュース学科

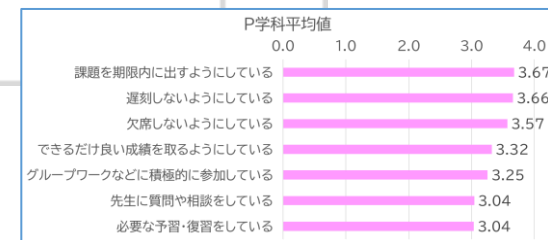
項目	平均点数	前年	差数	t 検定
遅刻しないようにしている	3.63	3.65	-0.03	0.784
課題を期限内に出すようにしている	3.53	3.61	-0.09	0.435
欠席しないようにしている	3.49	3.48	0.01	0.919
できるだけ良い成績を取るようになっている	3.24	3.21	0.02	0.849
グループワークなどに積極的に参加している	3.12	3.01	0.11	0.485
先生に質問や相談をしている	2.81	2.60	0.21	0.170
必要な予習・復習をしている	2.71	2.75	-0.03	0.819
全体	3.22	3.19	0.03	0.590

- 前年と比較して大きな変化はない

学修意欲調査結果

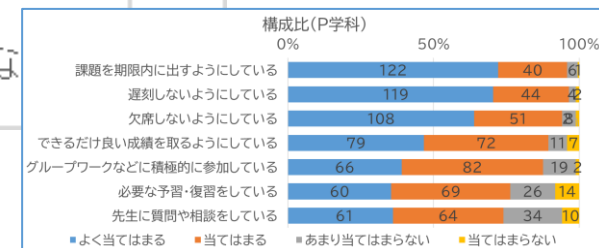
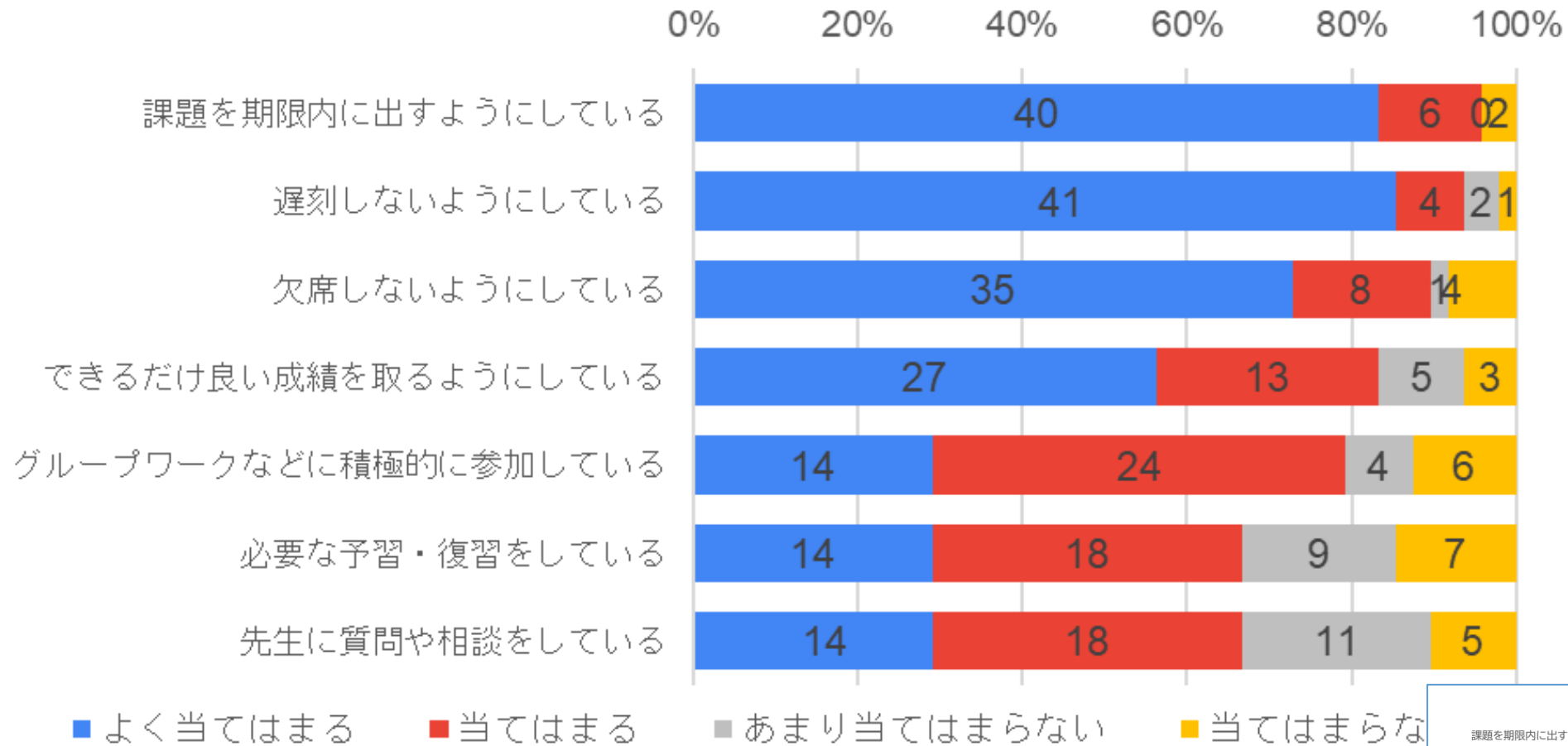


- 「グループワーク・・・」(▲0.30)はt検定で有意 ($p=0.048$)



学修意欲調査結果

構成比 (P学科)



• 「グループワーク」(▲0.30)はt検定で有意(p=0.048)

学修意欲調査結果

■平均点(前年比較)

保育学科

項目	平均点数	前年	差数	t 検定
遅刻しないようにしている	3.77	3.66	0.11	0.263
課題を期限内に出すようにしている	3.75	3.67	0.08	0.479
欠席しないようにしている	3.54	3.57	-0.03	0.850
できるだけ良い成績を取るようになっている	3.33	3.32	0.01	0.924
グループワークなどに積極的に参加している	2.96	3.25	-0.30	0.048
先生に質問や相談をしている	2.85	3.04	-0.19	0.233
必要な予習・復習をしている	2.81	3.04	-0.22	0.178
全体	3.29	3.36	-0.08	0.181

- ・「グループワーク・・・」(▲0.30)はt検定で有意(p=0.048)

学修意欲調査結果

- 保育学科では「グループワーク等に積極的に参加」の平均値が昨年の調査と比較して低下。
- 項目別の平均値について、学科・学年別に「学修成果に関する回答の平均値(成長実感)」及びそれぞれの項目との相関係数を調査したが、強い相関関係はみられなかった。
- 学習意欲と学習方略、成長実感のクロス分析は後半で報告

学修方略の調査について

◆2024年度「学修に関するアンケート」設問
「学習の方法について、以下の項目が自分自身にどれくらい当てはまる
かお答えください。」

- 考えてもわからないことは誰かに聞く
- 自分に合った勉強のやり方を工夫する
- 遊ぶときは遊び、勉強する時は集中して勉強する
- 繰り返し書いて覚える
- 友達と教えあう
- 授業で習ったことを自分でもっと詳しく調べる
- テスト等で間違えた問題をやり直す
- 計画を立てて勉強する
- ChatGPTなどの生成AIに質問する

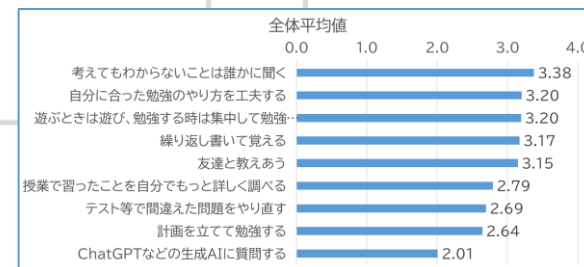
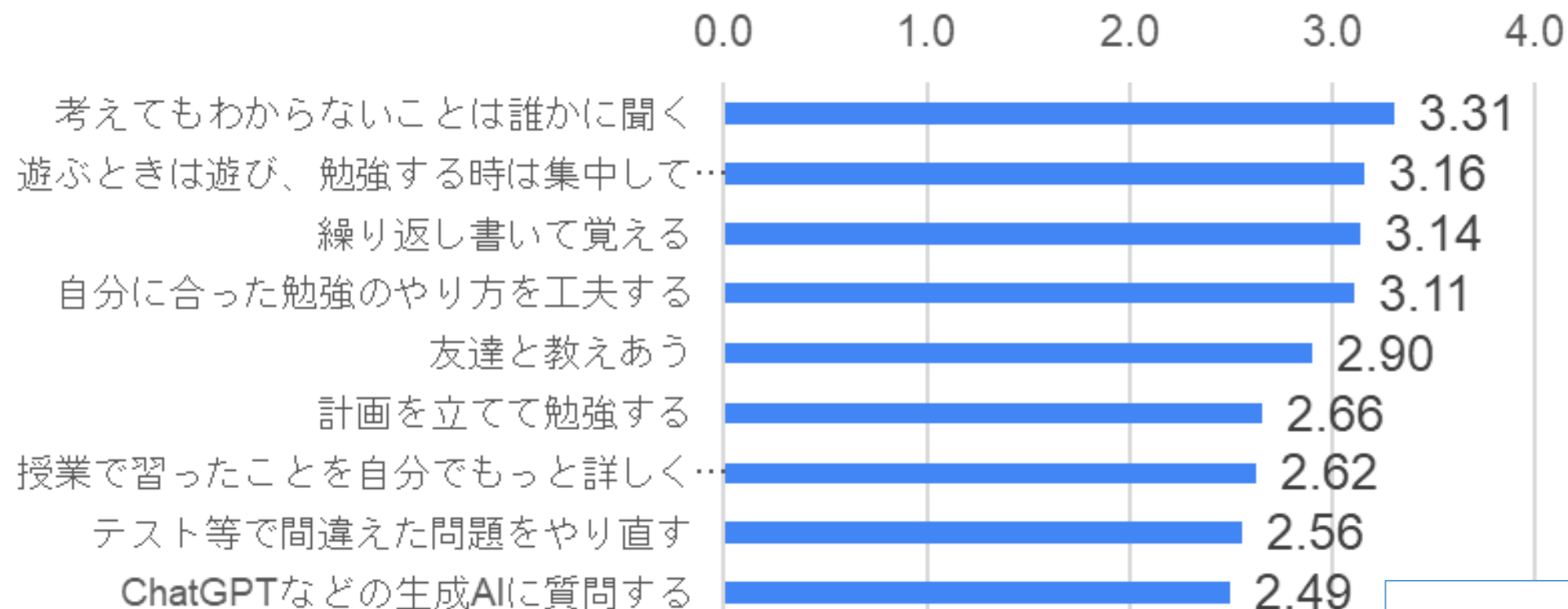
学修方略の調査について

◆回答…

- 当てはまらない(1点)
- あまり当てはまらない(2点)
- 当てはまる(3点)
- よく当てはまる(4点)

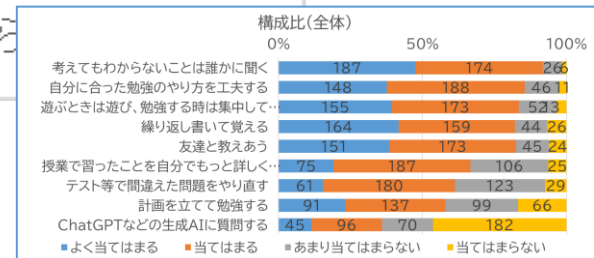
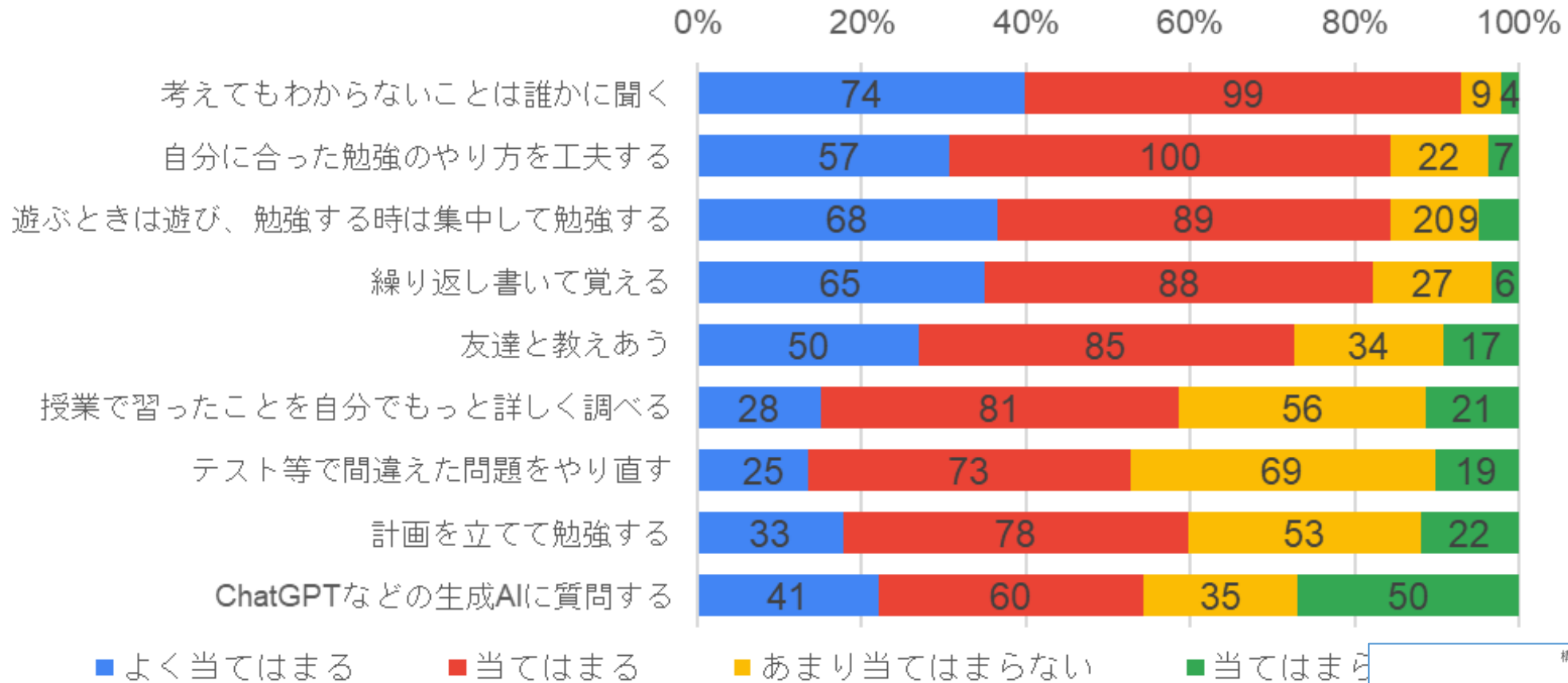
学修方略調査結果

全体平均値



学修方略調査結果

構成比（全体）



学修方略調査結果

■全体平均点

項目	平均点数	前年	差数	t 検定
考えてもわからないことは誰かに聞く	3.31	3.38	-0.07	0.223
遊ぶときは遊び、勉強する時は集中して勉強する	3.16	3.20	-0.03	0.626
繰り返し書いて覚える	3.14	3.17	-0.03	0.646
自分に合った勉強のやり方を工夫する	3.11	3.20	-0.09	0.176
友達と教えあう	2.90	3.15	-0.24	0.002
計画を立てて勉強する	2.66	2.64	0.01	0.885
授業で習ったことを自分でもっと詳しく調べる	2.62	2.79	-0.17	0.026
テスト等で間違えた問題をやり直す	2.56	2.69	-0.14	0.071
ChatGPTなどの生成AIに質問する	2.49	2.01	0.48	0.000
全体	2.88	2.92	-0.03	0.246

- 黄色網掛け部分は前年との差が有意(t検定結果 $p < 0.05$)

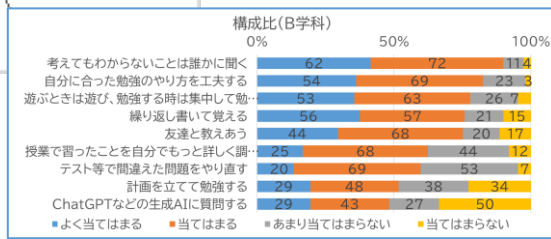
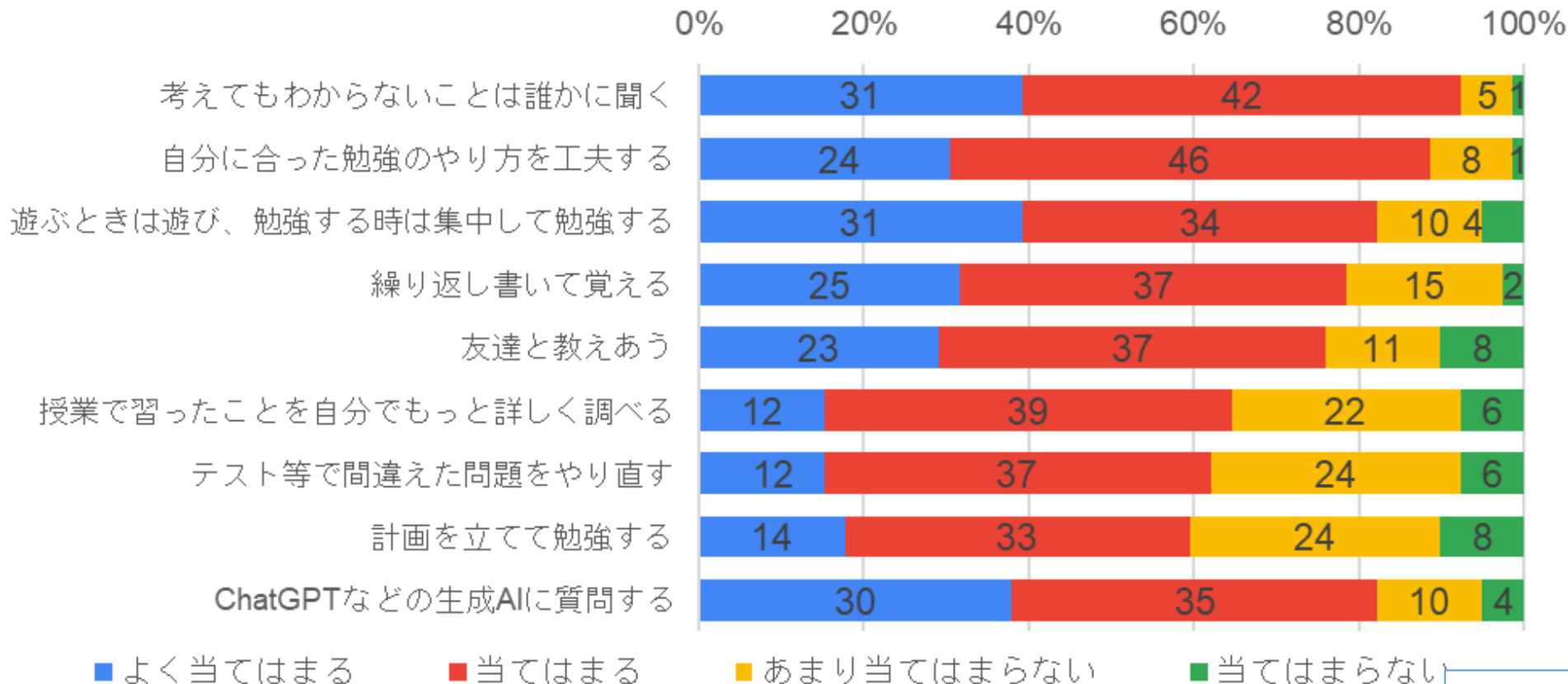
学修方略調査結果

B学科平均値



学修方略調査結果

構成比 (B学科)



• 他学科と比較して「ChatGPT等に質問」が多い

学修方略調査結果

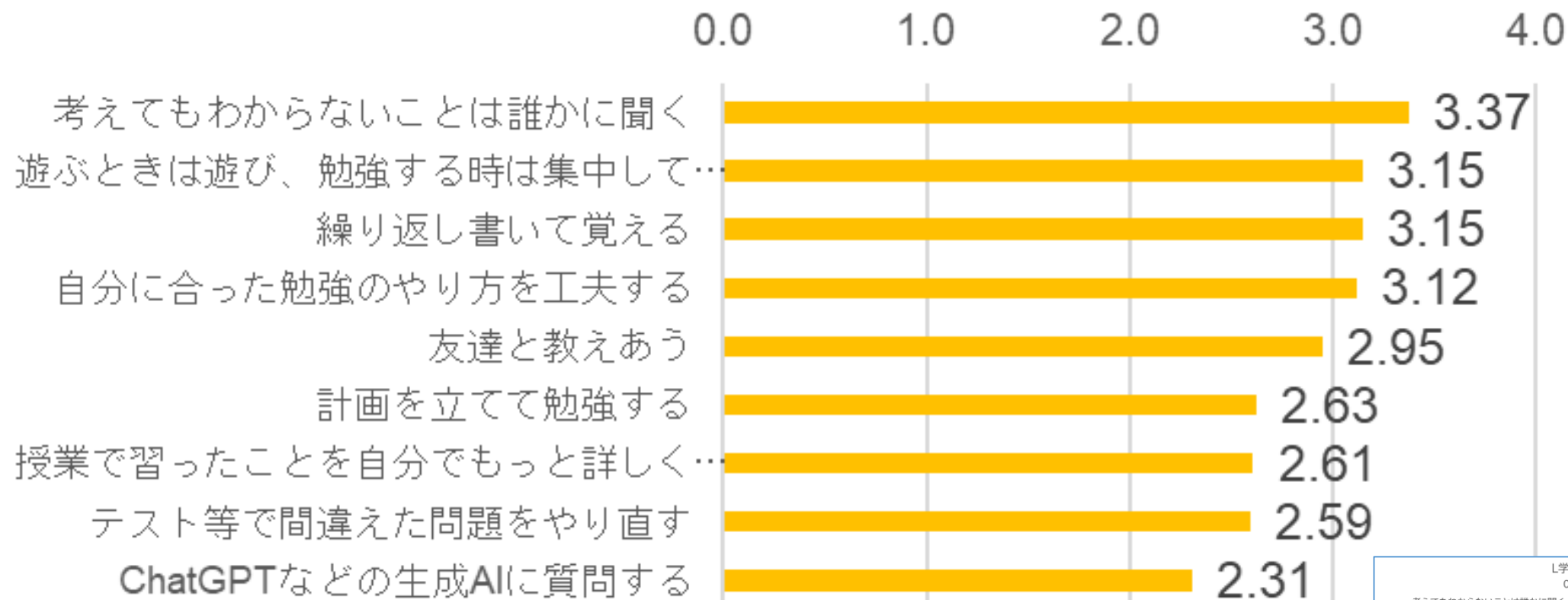
総合ビジネス・情報学科

項目	平均 / 点数	前年	差数	t 検定
考えてもわからないことは誰かに聞く	3.30	3.29	0.02	0.871
自分に合った勉強のやり方を工夫する	3.18	3.17	0.01	0.922
遊ぶときは遊び、勉強する時は集中して勉強する	3.16	3.09	0.08	0.510
ChatGPTなどの生成AIに質問する	3.15	2.34	0.81	0.000
繰り返し書いて覚える	3.08	3.03	0.04	0.720
友達と教えあう	2.95	2.93	0.02	0.898
授業で習ったことを自分でもっと詳しく調べる	2.72	2.71	0.01	0.930
テスト等で間違えた問題をやり直す	2.70	2.68	0.01	0.917
計画を立てて勉強する	2.67	2.48	0.19	0.156
全体	2.99	2.86	0.13	0.001

- 黄色網掛け部分は前年との差が有意(t検定結果 $p < 0.05$)

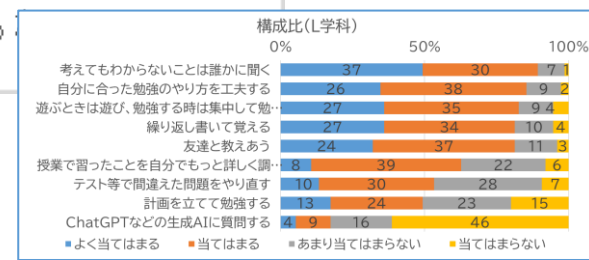
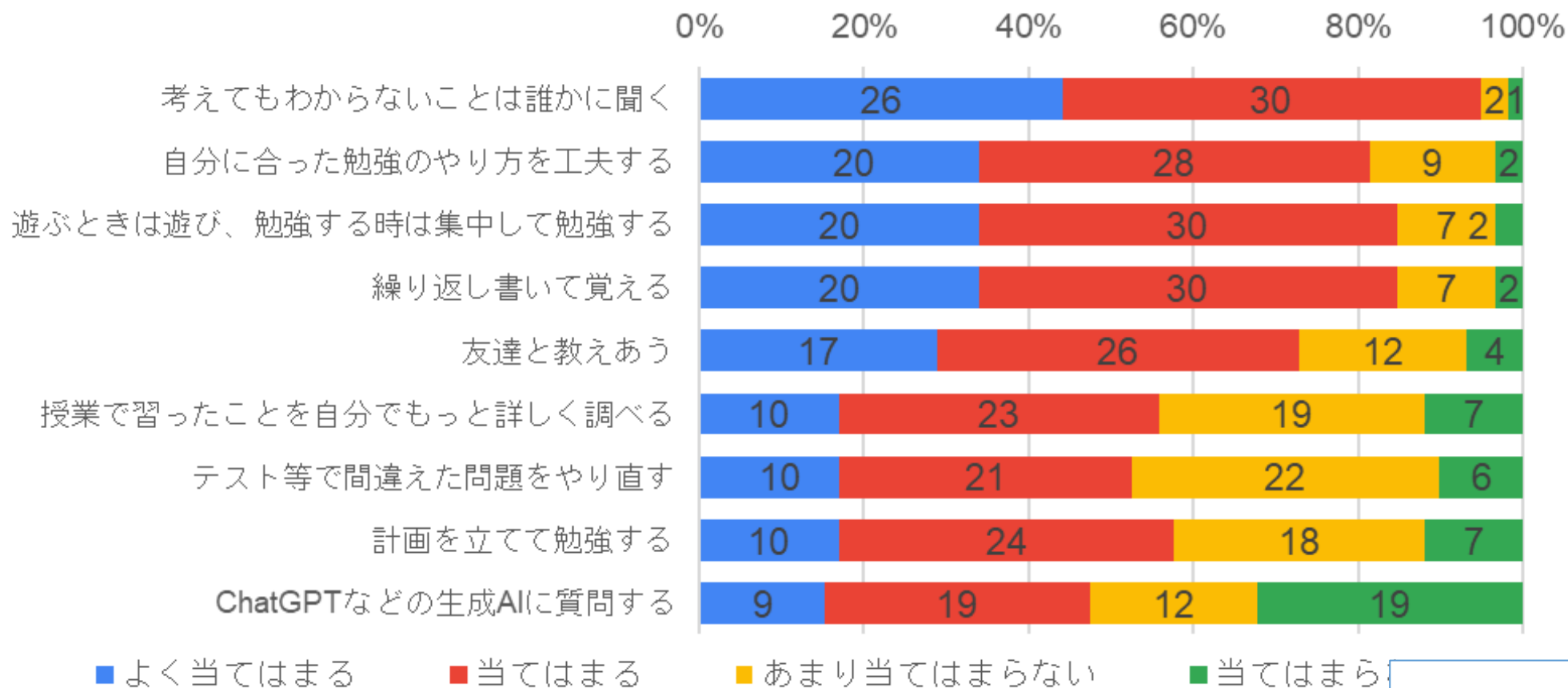
学修方略調査結果

L学科平均値



学修方略調査結果

構成比 (L学科)



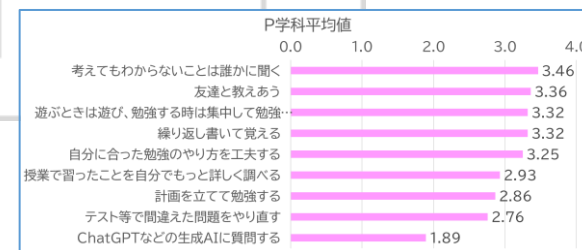
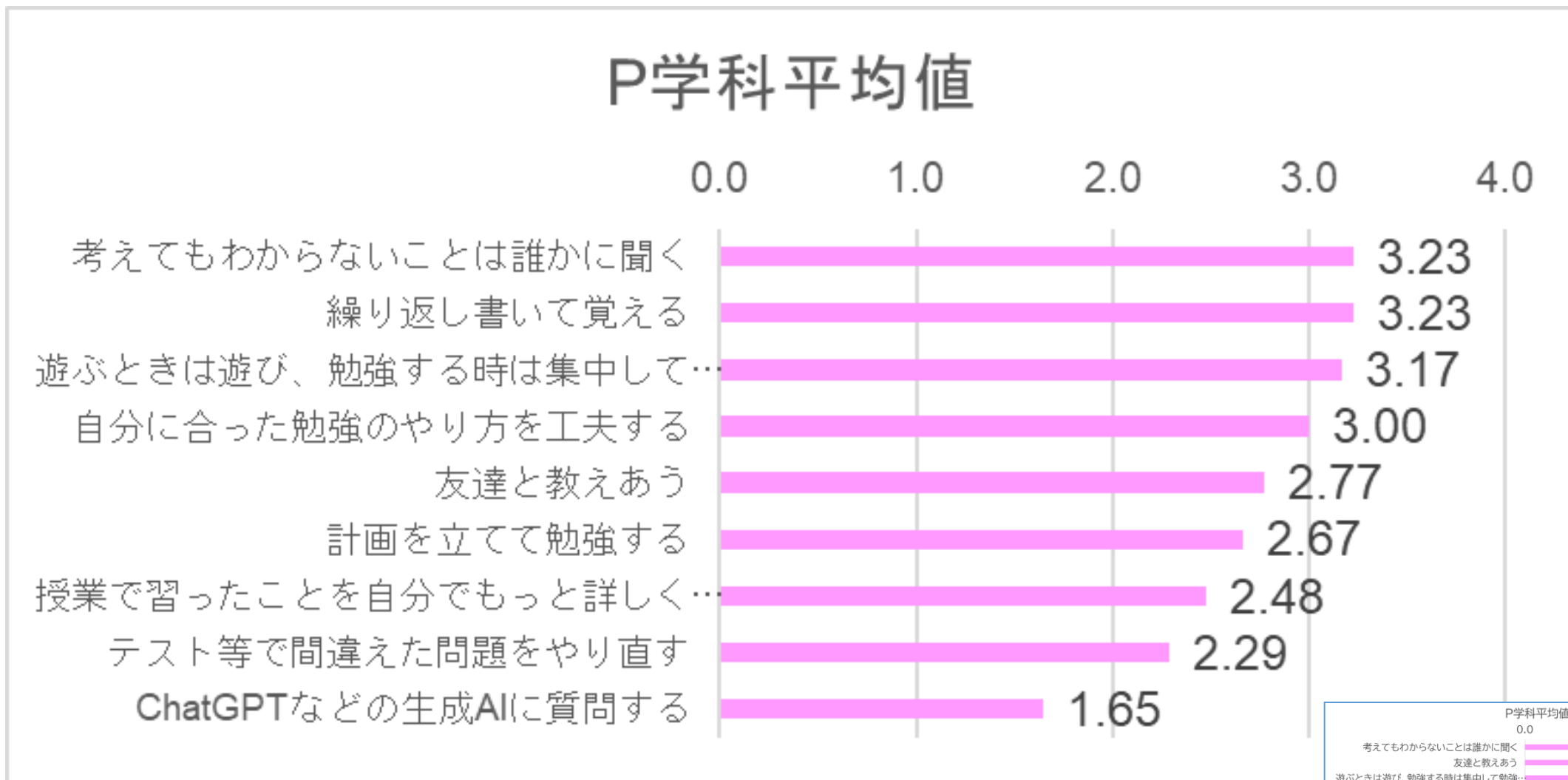
学修方略調査結果

生活プロデュース学科

項目	平均 / 点数	前年	差数	t 検定
考えてもわからないことは誰かに聞く	3.37	3.37	0.00	0.997
遊ぶときは遊び、勉強する時は集中して勉強する	3.15	3.13	0.02	0.889
繰り返し書いて覚える	3.15	3.12	0.03	0.815
自分に合った勉強のやり方を工夫する	3.12	3.17	-0.05	0.684
友達と教えあう	2.95	3.09	-0.14	0.327
計画を立てて勉強する	2.63	2.47	0.16	0.334
授業で習ったことを自分でもっと詳しく調べる	2.61	2.65	-0.04	0.772
テスト等で間違えた問題をやり直す	2.59	2.57	0.02	0.896
ChatGPTなどの生成AIに質問する	2.31	1.61	0.69	0.000
全体	2.88	2.80	0.08	0.165

- 黄色網掛け部分は前年との差が有意(t検定結果 $p < 0.05$)

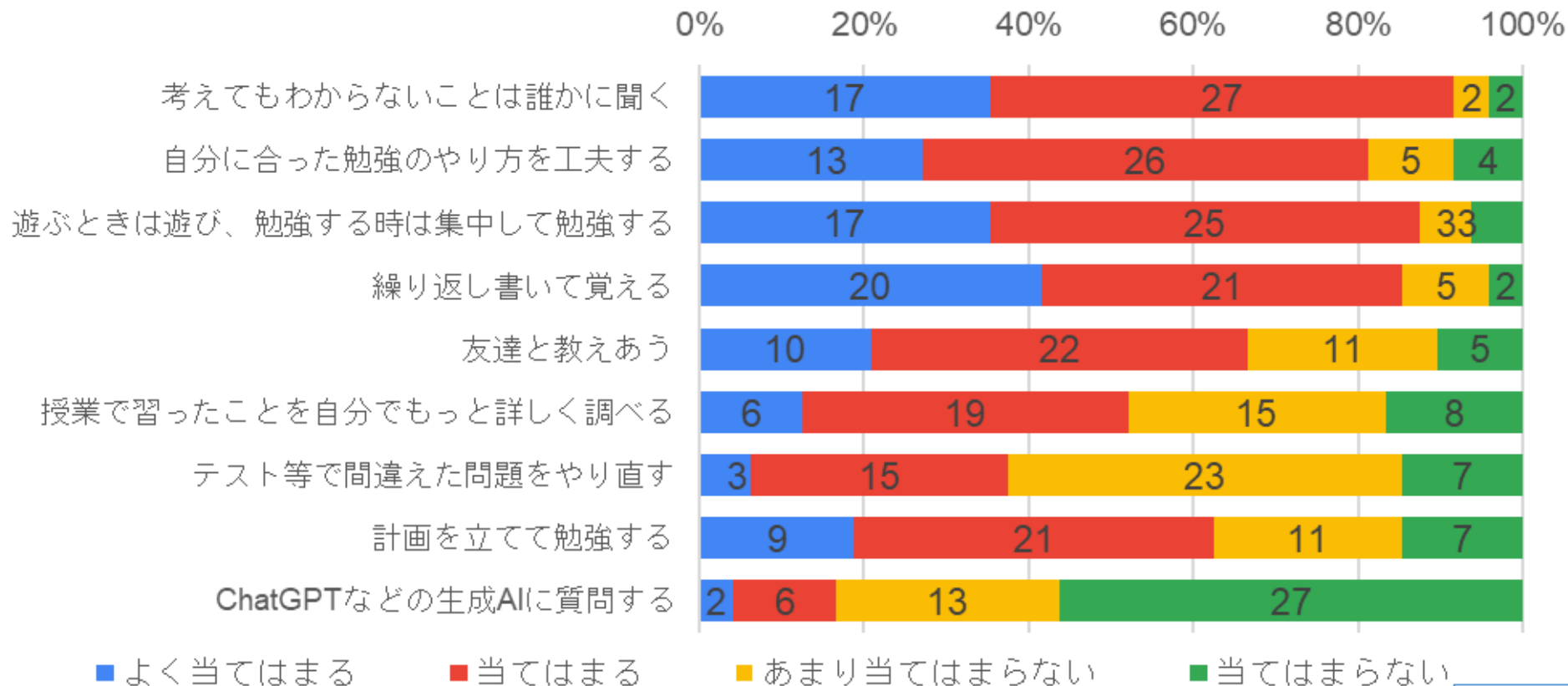
学修方略調査結果



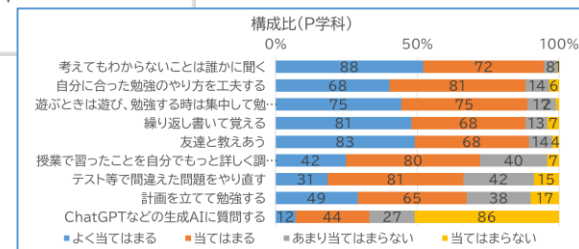
- 他学科と比較して「生成AI」が当てはまると回答した学生が少ない

学修方略調査結果

構成比 (P学科)



- 他学科と比較して「生成AI」が当てはまると回答した学生が少ない



学修方略調査結果

保育学科

項目	平均 / 点数	前年	差数	t 検定
考えてもわからないことは誰かに聞く	3.23	3.46	-0.23	0.046
繰り返し書いて覚える	3.23	3.32	-0.09	0.493
遊ぶときは遊び、勉強する時は集中して勉強する	3.17	3.32	-0.15	0.238
自分に合った勉強のやり方を工夫する	3.00	3.25	-0.25	0.072
友達と教えあう	2.77	3.36	-0.59	0.000
計画を立てて勉強する	2.67	2.86	-0.20	0.209
授業で習ったことを自分でもっと詳しく調べる	2.48	2.93	-0.45	0.003
テスト等で間違えた問題をやり直す	2.29	2.76	-0.47	0.001
ChatGPTなどの生成AIに質問する	1.65	1.89	-0.25	0.096
全体	2.72	3.02	-0.30	0.000

- 黄色網掛け部分は前年との差が有意(t検定結果 $p < 0.05$)

学習方略調査結果

- B、L学科では「生成AI」が増、P学科では全体的な低下がみられた。
- 項目別の平均値について、学科・学年別に「学修成果に関する回答(成長実感)の平均値」との相関係数を調査したが、強い相関関係はみられなかった。

学修意欲・学修方略 調査結果

- 学習意欲と学修方略の回答結果を点数化(1～4点)
 - 学習意欲:点数が高いほど意欲が高い
 - 学習方略:点数が高いほど学習方略を多く持っている
- それぞれ中央値で分割し、学生を4つの区分に分ける
 - 中央値:学習意欲・・・3.29、学習方略・・・2.89

学修意欲・学修方略 調査結果

- Aグループ: 学習意欲があり、学習方略も多い
- Bグループ: 学習意欲があるが、学習方略は少ない
- Cグループ: 学習意欲は低い、学習方略は多い
- Dグループ: 学習意欲が低く、学習方略も少ない

	学習方略が少ない	学習方略が多い
学習意欲が高い	B	A
学習意欲が低い	D	C

学修意欲・学修方略 調査結果

■人数(全体)

	学習方略が少ない	学習方略が多い
学習意欲が高い	B: 28人 (15.1%)	A: 53人 (28.5%)
学習意欲が低い	D: 70 (37.6%)	C: 35人 (18.8%)

- D(学習意欲が低く、学習方略が少ないグループ)に含まれる学生が多く、次いでAグループ(学習意欲が高く、学習方略が多いグループ)が多い

学修意欲・学修方略 調査結果

■成長実感の平均値(全体)

	学習方略が少ない	学習方略が多い
学習意欲が高い	B: 3.36	A: 3.65
学習意欲が低い	D: 3.29	C: 3.33

- Aグループ(学習意欲:高、学習方略:多)が最も高く、Dグループ(学習意欲:低、学習方略:少)が最も低い
- t検定結果が有意($p < 0.05$)となった組み合わせはA×B、A×C、A×D

学修意欲・学修方略 調査結果

- Aグループ(学習意欲:高、学習方略:多)とBグループ(学習意欲:高、学習方略:少)の成長実感の平均値に差があることから、学習方略を多く持っている学生の方が成長実感を得やすいと考えられる

→AグループとBグループで学習方略の数値を比較

- 単に成長実感が高いグループと低いグループを中央値で分け、学習方略の平均値を比較しても、やはり有意な差があった。

学修意欲・学修方略 調査結果

■グループ別学修方略平均値

学習方略	A	B	差数	t検定
考えてもわからないことは誰かに聞く	3.66	3.25	0.41	0.001030
テスト等で間違えた問題をやり直す	3.02	2.32	0.70	0.000185
自分に合った勉強のやり方を工夫する	3.62	3.07	0.55	0.000137
遊ぶときは遊び、勉強する時は集中して勉強する	3.70	3.00	0.70	0.000002
繰り返し書いて覚える	3.64	2.96	0.68	0.000052
友達と教えあう	3.42	2.71	0.70	0.000566
計画を立てて勉強する	3.36	2.50	0.86	0.000006
授業で習ったことを自分でもっと詳しく調べる	3.25	2.39	0.85	0.000007
ChatGPTなどの生成AIに質問する	2.91	1.68	1.23	0.000009

- 特に「生成AI」「計画的学習」「自主的な調べ学習」などに差がみられた。

学修意欲・学修方略 調査結果

【調査結果】

学習意欲が高いグループの中でも、学習方略の多少によって成長実感に差が見られた。

【仮説】

学生が高い成長実感を得るためには学習方略を増やすことが重要。

【取組みの例】

AグループとBグループを比較したとき、差が大きかった「生成AI」「計画的学習」「自主的な調べ学習」等に着目し、学生が学習習慣を身に付けられるような取組みを行う。

EOF